



# 令和8年度 学校経営方針



60周年キャラクター  
いしわらっこ

調布市立石原小学校  
校長 飯島 慶裕

## 1 目指す学校像

☆ だれでも認め合い みんなで育ち合う 笑顔あふれる学校

### (1) 保護者や地域とともに歩む学校

子供は、学校・保護者・地域の三者で育ててこそ、健やかに成長することができます。家庭や地域等と連携し、協力し合いながら地域に根差した教育活動を推進します。大人になっても、学んだことを誇れる石原小学校であり続けることを目指します。

→誇れる笑顔

### (2) お互いを尊重し合いながら学ぶ学校

教師と子供、教師と保護者、保護者と子供だけでなく、教師同士、子供同士、保護者同士が相手を尊重し、認め合う中でこそ、子供は心身共に健やかに成長することができます。子供一人一人のよさや可能性を見だし、伸ばしていく教育活動を推進します。

→認められる笑顔

### (3) 教職員にとって、自信と誇りをもってやりがいの感じられる学校

失敗を恐れず、次のステップへつなげていくことを重視します。教師のやる気は、子供たちの学習への原動力となります。教職員一人一人が、創意工夫しながら新しいことにチャレンジしていく教育活動を推進します。

→やる気のある笑顔

### (4) 子供にとって、安心して通える学校

様々な災害や日常生活での危険に対する正しい知識と、自らの命を守る対応力や予知・回避能力を高める活動を充実させます。また、食物アレルギーの対応を確実にを行い、誤配・誤食を防止し、子供の命を守ります。

→安心のある笑顔

## 2 本校の教育目標

### ◎ なかよく助け合う子（今年度の重点）

- ・ 自分と他者の生命や個性を尊重し、言語や人種、障害の有無等の多様な違いを受け入れ、共生社会の一員として参画する。（人権尊重、思いやり、コミュニケーション力）

### ○ 根気よく学ぶ子

- ・ 主体的に学ぶ意欲をもち、自らを高めようと創意工夫する。  
(問題解決力、判断力、表現力)

### ○ 明るく元気な子

- ・ 心身を鍛え、多様な経験を積み重ねながら前向きに生活する。（体力向上、実践力）

## 3 経営の方針

学校は子供のためにあります。一人一人の健やかな成長を目指し、確かな学力を付け、夢と希望をもって心豊かに生きていく子供を育てたいと考えます。そのためには、学校・保護者・地域が一体となって教育活動を進めることが重要です。そこで、以下のことを重視します。

## (1) 人権尊重教育を重視

- 互いに相手を思いやるとともに、自尊心や自己有用感を高める。  
(心のこもった挨拶、適切な言葉遣い)  
→ いじめの未然防止 自他の生命の尊重 善悪の判断 自己肯定感を高める  
喜び、感謝する気持ち
- 集団の一員としてよりよい生活や人間関係の充実を図る。  
(道徳教育 たてわり班活動)  
→ 思いやりの心や協調性を育む。絆を深める。
- あらゆる偏見や差別をなくす。(インクルーシブ教育)  
(男女間、障害の有無、性的マイノリティ、外国籍、貧困等)  
→ 子供一人一人がもっている長所や強みを引き出し、伸ばしていく。
- 安心して間違えることができる。  
→ 誰もが失敗する。お互いに失敗を認め合う。失敗したことから学ぶ。
- 教員一人一人が人権感覚を豊かにし、子供の人権を尊重する。  
→ 体罰・不適切な指導の防止  
児童を不適切な言い方(あだ名等)で呼ばない。「さん」で統一  
どうしたら解決につながるのか、アイデアを出し合う。



子供にとって、学校が心の安らぐ場所になる。

## (2) 学力の向上を重視

- 確かな学力を定着させる。  
→ 基礎的学力…読む 書く 計算する等(漢字の読み書き、九九の定着)  
基本的学力…思考力 判断力 表現力  
↓  
相互の関連付け・深化  
朝学習の充実
- 子供たちに主体的対話的で深い学びを導き出す。  
→ できた。分からなかった、でも楽しかった。(試行錯誤しながら学ぶ楽しさ)  
ペア学習・学び合い学習等
- めあてを明示し、いつでも学習の振り返りができる。  
→ 見通しをもった学習活動
- 思考力・判断力・表現力の向上のために、指導法の工夫改善を行う。  
→ 児童用タブレットの活用等 中・高学年における教科担任制  
→ 学年担任制
- 地域と連携した体験学習等を充実する。  
→ 農園活動、地域巡り、地域学習、キャリア教育等

### ☆ 魅力ある授業づくりの推進⇒不登校の未然防止

子供たちが楽しく学習している姿⇒保護者の安心・信頼につながる。

※ 週案を作成し、計画的に教育活動を行う。(学習内容、ねらい、安全配慮等)

## (3) 安全・安心な学校づくりの推進を重視

- 生活指導の徹底を図り、集団生活のルールやマナー、規律ある落ち着いた生活態度と学習態度を身に付けさせる。  
→ 週時程の順守  
タブレットの正しい使い方・管理、掃除や給食のやり方、廊下・階段での歩行  
等石原小の決まりの徹底

- 交通事故防止，熱中症対策，防災意識（地震，風水害），不審者対策
- 休み時間等の安全管理
  - 鉄棒からの落下 ジャンブルジムでの衝突 コンクリート部分での転倒
- 授業での事故防止
  - 体育でのけが防止（鉄棒，跳び箱，マット，走り高跳び等）  
理科，図工，家庭科における器具・道具の取り扱い（事故・けがの防止）
- 不登校傾向の児童への対応
  - ひだまりルームの活用，個別指導等
- 食物アレルギー事故の防止
  - 指導管理表 毎日の献立の確認 全教職員が意識を高めて対応  
（マニュアルに沿った対応）

↓

子供にとって，学校が安心・安全な場所になる。（危険を察知する視点をもつ）

(4) 教職員の創意・工夫を重視

- これまで蓄積してきた伝統を大切にする。
- 従前の考え方にとらわれず，創意・工夫された取組を行う。
- 新しいことにチャレンジ でも独善は×

↓

先生のやる気（チャレンジ）は，子供のやる気につながる。

(5) 家庭・地域との連携を重視

- 学校運営協議会，地域学校協働本部との連携
  - 地域学習 校外学習 ゲストティーチャー 補習
- P T Aとの連携
  - 役員会 実行委員会 P T A行事
- 保護者との情報共有
  - 学校だより 学年だより 学級だより ホームページ 電話連絡 連絡帳  
情報は生ものです。時間がたつと腐ってしまいます。保護者への連絡・報告は，  
できるだけ早く，できたら子供が帰る前に伝えるようにする。

↓

保護者の学校に対する信頼感は，子供の家庭における安心につながる。